

最優秀賞 静岡県知事賞

境川・清住緑地 (三島市)



1

受賞者

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
境川・清住緑地愛護会
三島市
静岡コンサルタント株式会社
加和太建設株式会社



アクセス

東海バス「玉川」バス停から徒歩約3分
市内循環バスせせらぎ号
「清住緑地入口」バス停から徒歩約5分

所在地

三島市清住町6



2



4



5



3



6



7

受賞者コメント

「境川・清住緑地」は、一級河川・境川上流部左岸に広がるビオトープ公園です。荒地化していた谷地田を、グラウンドワーク三島が調整役になり、住民と行政との協働体制を構築して整備を進め、平成13年に完成しました。

以後は、グラウンドワーク三島と境川・清住愛護会が維持管理を担い、三島市立西小学校を対象にした田んぼの学校や自然観察会、ゴミ拾いや草刈りなどを行ってきました。

平成27年には、隣接の養魚場跡地が、企業に買収されましたが、グラウンドワーク三島が企業との交渉を重ね、三島市による買収を実現しました。

この場所を整備するに当たり、貴重な植生や水草を一時的に移植・保育し、改修後に境川や湧水池に戻す「ミチゲーション工法」を採用し、ミシマバイカモなどの希少植物が見られる湧水公園が、令和2年に完成しました。

ここには、豊かな河畔林やハンノキ林、水田、湿地、湧水池、高さ1.5mの水柱、池の中を泳ぐハヤの群れ、小川で魚採りや川遊びをする子どもなど「ふるさとの原風景」が残る、貴重な自然環境・水辺景観が守られており、三島市の新たな「水の郷」として多くの市民や観光客が訪れています。

写真1～7：特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

審査委員より

これまで行われてきた「地域固有の自然・植栽・生態から成る景観の復元」という景観整備の考え方を継承すると共に、新たなランドスケープ・デザインの展開による景観施策を、高く評価できます。

グラウンドワーク三島が主導した、住民参加型の湧水公園の計画・整備、地域住民の緑地愛護会による維持・管理、そして子供・大学生・企業人のための研修・育成・教育プログラムの開発・実践などが、景観に関するソフト事業において多大な貢献をしていることも高く評価できます。